

ほほえみ通信

グループホームくりの 第32号

始良郡湧水町米永181-1 平成26年7月発行

基本理念

このホームが あなたにとって
最高の我が家となりますように
私たちがあなたにとって
の家族となれますように

活動目標

今日も一日 笑顔で
ありがたい心が通い合う
地域社会の人々と共に
楽しい暮らしを目指します

5月誕生日

伊地知 敦子様(95歳)



誕生日

おめでとうございます



こいのぼり見学

がらッパ公園に
行って来ました。
1階：5月2日
2階：5月7日



栗野中学校1年生 福祉体験

楽しい1日でした



◎色々な事が学べました。その学べた事は今の平和についてです。
この話をしてくれたのは、原口さんとミナさんです。「昔は戦争が
あって敵の戦闘機が来るたびに空襲警報が鳴り、防空壕に隠れて
いた」と苦しく辛かった思い出を語って下さいました。そして、
「今は、平和な世の中になって生まれてきたあなた達って、本当に
幸せよ。着る物があって、食べ物があって。他にも色々あって
何一つ、不自由な事なんて無いでしょ。だからこそ一番大切なのは
楽しむという事」と語ってくれて心にジーンとききました。
ありがとうございました。 S・T

◎皆で作ったカレーは、今まで食べた中で一番おいしかったです。
これからも、元気で毎日楽しく笑顔の絶えないグループホームくりのの
皆さんでいて下さい。 Y・Y

◎97歳のおじいちゃんがいる、元気なおじいちゃんとおしゃべりして
私も元気をもらいました。 M・T

◎クイズでは、皆さん次から次へとすぐに正解して、さすが人生の
大先輩だと思いました。しかも、クイズが終わると皆さんニコニコして
楽しかったんだあと、クイズを出題した僕たちは嬉しかったです。
S・S

◎今日の体験を、これからの生活に活かせるように頑張りたいと
思います。 R・S



◎おじいちゃん、おばあちゃんと話した時が一番楽しかったです。特に
沢山お話をした馬込さんは、戦争の話や長生きの秘訣などを教えて
もらってとても楽しく、ためになりました。次に楽しかったのは
ホットケーキ作りが楽しかったです。 N・N



※一部抜粋してあります。

ホームでの日常



はよく
よか湯じゃ



毎日の日課です。



穫ナス
水たよ



芝桜見学



今年もたくさんの梅が
穫れました。



梅ちぎり

スタッフの 一言

若い頃、介護の仕事をするとは思っていませんでしたが、
早いもので4年目になりました。とても楽しく過ごさせて頂いています。
「子供叱るな歩んで来た道、年寄り笑うないつか行く道」と書かれた
新聞記事が、目にとまりました。子供でも、お年寄りでもなく帰宅すると
子供達の母になる私には、頭から離れない言葉になっています。
初心を忘れず、入居者様の言葉、表情、行動から思いを理解し
過不足のないお世話を目指していきます。

上村 美鈴

このホームに勤め初めて7ヶ月が過ぎようとしています。
働かせて頂きながら、毎日が勉強の日々です。
介護経験が無かったので、仕事に就いて行けるかとても不安
でしたが、先輩職員から優しく時には 厳しく指導して頂き沢山の事を
学びました。
私は小さい頃、祖母と暮らし、祖母は母のような存在でした。
その祖母を亡くし、遠く離れた日本に居たので親孝行出来なかった事が
悔やまれていました。入居者様の顔や姿や表情が、自分の祖母と重なり
一緒に生活できる喜びと感謝で胸一杯になります。
言葉の問題とか、色々なハンデがありますが、これからもより一層
努力しながら、この仕事を通して色々な事を皆さんから教えて頂きたいと
思っています。一生懸命頑張りますので、皆さんどうかよろしくお願い
致します。

華 玉坤 (ホア・ユイクン)

